



ちやいろいつつみ紙のはなし

アトリー作 殿内真帆絵 まつのまさこ 松野正子訳 ふくいんかんしよてん 福音館書店

むかし、ある小さな新聞屋さんのたなの上に、ちやいろ
いつつみ紙が一枚すんでいました。紙はしっかりとたたま
れて、動くこともできず、とてもたいくつしていました。
クリスマスが近づいたある日、ちやいろい紙は、とうと
う売れました。そして、赤いリボンのついたおくりものの箱
をしっかりとつつむと、まちにまっ
たぼうけんの旅にでたのです。
つつみ紙が主人公のちよっと変わ
ったものがたり。心あたたまるおは
なしにぴったりの絵が、いっそうし
あわせな気持ちにしてくれます。

